

受験番号

氏名

実技試験（鉛筆写生）

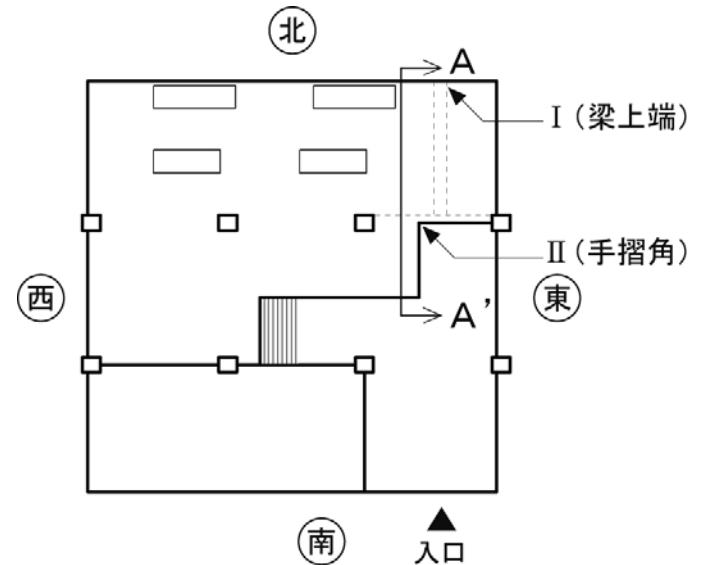
9月18日(火) 10:00-12:00 (1時間 昼休み) 13:00-16:00

- 課題**
- ① B4方眼紙に、石膏展示室の東側立断面図を描く。
 - ② 水張り用紙に、同室のパースを描く。

1. 配布物

- ・ 課題用紙（本紙）
- ・ B4方眼用紙（東側立断面図）×2枚：提出用1枚、下書き用1枚
- ・ B4画板
- ・ 水張り用紙（パース提出用）

※なお、配布物は終了後すべて回収します。



2. 写生の対象

試験会場である、石膏展示室内。竣工当時から存在すると考えられるものを対象とする。さらに、建築物本体のほか、建具、手摺、照明器具は含む。縮尺1/100程度の図面を製図する場合を想定した時に省略すると考えられるものや、後から付加、設置したと考えられるもの、展示されている石膏像は含まない。

（試験会場：天野太郎設計 前芸大建築学科教授 1970年竣工）

3. 写生の内容

① 東側立断面図

縮尺1/100の図面製図を目的とした、東側立断面図の野帳を作成する。A-A'位置（上図参照）の断面を描き、東壁面の立面をかき加える。実測に必要な寸法線を記入する。寸法の数値は不要。

② パース<内観写生>

各自イーゼルのある位置から見た、パースを描く。上図に示す<I、II>点をパースの中に入れること。この建築の設計者が意図したと思われる空間の特徴、採光の特徴がわかるよう陰影を描く。用紙の縦横使いは問わない。

4. その他 注意事項

- ・ 定規は使わずフリーハンドで描くこと。
- ・ 写生の対象と内容については各自が判断することとし、質問は受け付けない。
- ・ パース作成作業は、原則として各自の作業机及びイーゼルのある場所で行う。
- ・ 立断面図作成のために、A-A'ライン付近に立ち入ることは可とする。
- ・ 他の受験生の邪魔にならないよう、静粛を旨とする。静粛の維持について試験監督者の指示に従わない場合、作業の中止、さらには受験を中止させる場合がある。
- ・ 試験時間中は携帯電話の電源を切り、身につけないこと。
- ・ 立入禁止の掲示や指示がある場合は、これに従う。物品に触れて破損したりすることのないよう、十分に気をつける。
- ・ 課題用紙、B4方眼用紙、水張り用紙、すべてに受験者の専攻・番号等を所定の位置に記入し、試験会場から持ち帰らないこと。

筆答試験 (2) 問題及び解答用紙

問題Ⅰ 別紙1に写真または図面で示した①～⑧の各建築について、建築等の名称、建築年代、主な建築的特徴、を下記の枠内に書きなさい。なお、建築年代については"〇世紀"などの大まかな時期の表記でもよい。

番号	建築等の名称	建築年代	主 な 建 築 的 特 徴
①			----- ----- -----
②			----- ----- -----
③			----- ----- -----
④			----- ----- -----
⑤			----- ----- -----
⑥			----- ----- -----
⑦			----- ----- -----
⑧			----- ----- -----

問題Ⅱ 日本における世界遺産13件(文化遺産)のうちから1件、重要伝統的建造物群保存地区98地区(いわゆる集落・町並みの保存地区)のうちから1件をそれぞれ選び、その名称を記して各2行以内で説明しなさい。

(1) 世界遺産 名称:

説明: -----

(2) 保存地区 名称:

説明: -----

問題Ⅲ 別紙2には、重要文化財池上本門寺宝塔(東京都、天保元年:1830年建立)の立断面図を掲げてあります。図中に矢印で示した①から⑯の建築部材または部位の名称を以下に漢字で記しなさい。

①: _____ ②: _____ ③: _____ ④: _____ ⑤: _____ ⑥: _____ ⑦: _____ ⑧: _____
 ⑨: _____ ⑩: _____ ⑪: _____ ⑫: _____ ⑬: _____ ⑭: _____ ⑮: _____ ⑯: _____

問題Ⅳ 以下の(1)～(8)の語から2つを選んでその番号を()に記し、各3行以内で説明しなさい。

(1) 薬師寺三重塔 (2) 和様 (3) 神明造 (4) 浄土教建築 (5) 間面記法 (6) 座敷飾 (7) 妻飾 (8) 棧唐戸

番号() 説明: -----

番号() 説明: -----

問題Ⅴ 別紙3の英文は、2003年にベトナムにある世界文化遺産、歴史都市ホイアンで行われた国際シンポジウムにおいて採択された「ホイアン宣言」の第5条です。日本語でタイトルと全体の大意を記しなさい。なお、英語辞書等の使用は認めない。

受験番号 氏 名

筆答試験(2) 別紙1

問題 I 写真・図面(1~8)

法隆寺金堂

出雲大社本殿

①

②

中尊寺金色堂

浄土寺浄土堂

④

③

円覚寺舍利殿

慈照寺銀閣

⑤

⑥

清水寺本堂

姫路城大天守

⑦

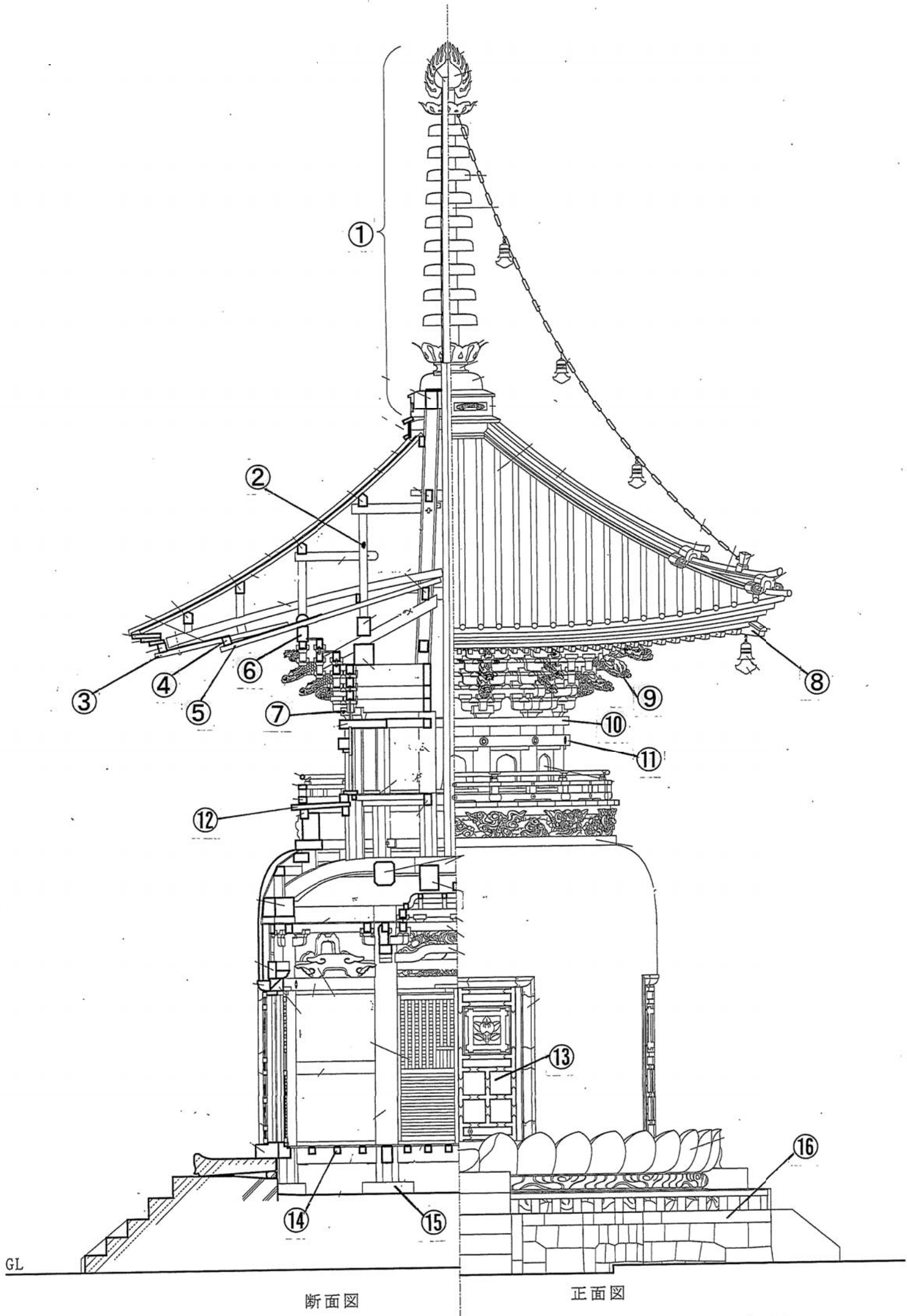
⑧

受験番号

氏名

筆答試験(2) 別紙2

問題Ⅲ 図面



受験番号

氏 名

筆答試験(2) 別紙3

問題 V 英文

The Hoian Declaration on Cnservation of HIstoric Districts of Asia

5. Preserving Wooden Architectural Heritage in Historic Districts

Particularly present in historic districts, the wooden architectural heritage of Asia is very important and constitutes a major expression of the cultural diversity and influences. Yet, it remains fragile and its preservation in often densely populated historical areas is a daunting task that requires great efforts and cooperation. The conservation of wooden architecture exposed to rain, high humidity and temperature as well as termites and other biological agents, is by nature a challenge that has led in the past to the development of valuable traditional knowledge on the use of wood for structure or ornament, and on methods for carrying maintenance and repair work. As stated in the Principles for the Preservation of Historic Timber Buildings adopted by ICOMOS in 1999, everyone involved in the maintenance and repair of wooden architectural heritage, from the owners to the construction workers and specialists must fully understand these principles and their meaning and benefit from the support and advice of public organizations and specialists.

「The Hoi An Declaration on Conservation of Historic Districts of Asia」, 2003年9月